

## 大学入試センター試験を終えて

1月19～20日の2013年度大学入試センター試験を本校からも高校3年生73名が受験しました。比較的穏やかな天候の中、遺愛の生徒は全員元気に北海道教育大学函館校で受験しました。

今回のセンター試験は国語と数ⅠA、公民が難しかったようです。河合塾では文系全国平均900点満点で531点（昨年より41点ダウン）、理系全国平均で551点（昨年より35点ダウン）の予想がでていました。全国的には平均点の大幅なダウンです。

遺愛の平均点は文系で585点（昨年より17点ダウン）、理系で617点（昨年より29点アップ）でした。遺愛生は本当に良く頑張ったと思います。志望校の目標ラインに到達した生徒は、これから2次試験にむけて詰めの勉強になりますが、最後まで粘り強く頑張ってもらいたいと願います。

残念ながらうまくいかなかった生徒もいます。自分の実力を発揮できずに、目標ラインを大幅に下回った場合は、これからどうするか決断が必要です。ある意味で「人生の実力」が問われる場面です。日本のホスピス医療の草分けの柏木哲夫医師は、「『人生の実力』とは、自分に不都合なことが起こった時に、その不都合さの中に自分が人間として生きている証を見ることが出来る力である。」と御著書のなかで書いていました。思うようにいかなかったことは嫌なことで辛いけれど、その事実を受け入れ、そこから前向きな一歩を

踏み出すことができるかどうか問われる「人生の実力」です。神様はそこから必ず良い道を用意してくれていることを信じて歩み始めてほしいと願います。



2013年1月29日(火)